

China

中国

2002

新星出版社

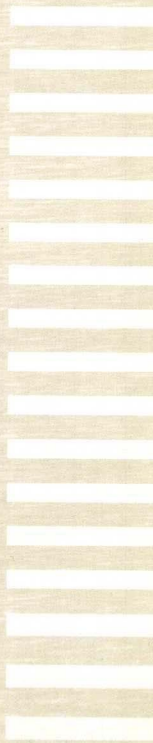
中國

China

2002

江苏工业学院图书馆

藏书章



图书在版编目(CIP)数据

中国 2002 / 钟欣编. — 北京: 新星出版社, 2002.6

ISBN 7-80148-480-0

I. 中… II. 钟… III. 中国—概况—2002—日文

IV. K92

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 024896 号

顾 问: 郭长建 黄友义
主 编: 肖晓明 李振国
副 主 编: 吴 伟 崔黎丽
文字编辑: 王传民 蒋安全 吴乃陶
黄 卫
图片编辑: 李迎迎 李琼芳
封面设计: 阳 智
内文设计: 张 朋 陈 军
翻 译: 林国本 施殿文 赵玉琳
夏祖芬 张毓英

中国 2002

钟 欣 编

*

新星出版社出版

(中国北京百万庄路 24 号)

邮政编码 100037

中国深圳当纳利旭日印刷有限公司印制

2002 年(大 32 开)第 1 版

2002 年第 1 版第 1 次印刷

(日)

04600

ISBN 7-80148-480-0/Z.481 (外)

17-J-6694P

目次

1 歴史的概況

- 2 大昔と奴隷制社会(170万年前～紀元前 476 年)
- 3 秦の始皇帝 (紀元前 259 ～前 210 年) およびその帝国
- 3 漢の時代 (紀元前 206 ～紀元 220 年) と「シルクロード」
- 4 唐代の栄えた時期 (618 ～ 907 年)
- 4 宋、元、明、清(960 ～ 1911 年)
- 6 近代 (1840 ～ 1919 年)
- 7 新民主主義革命 (1919 ～ 1949 年)
- 7 中華人民共和国 (1949 年以後)

9 国土と資源

- 10 国土領域
- 11 地形
- 11 河川と湖
- 12 気候
- 13 土地と鉱産物
- 14 動物と植物

17 行政区画と都市

- 18 行政区画制度
- 20 台湾省
- 22 香港特別行政区
- 24 澳門特別行政区
- 24 主な都市





27 人口と民族

- 28 人口の現状
- 28 人口の増加
- 28 計画出産
- 29 56 の民族
- 31 民族区域自治
- 32 言語と文字
- 33 生活習慣
- 33 祝祭日
- 35 宗教の信仰

37 政治制度と国家機構

- 38 憲法と法体系
- 38 人民代表大会制度
- 40 数多くの党の協力と政治協商制度
- 41 国旗、国章と国歌
- 42 国家機構の体系
- 42 全国人民代表大会
- 42 国家主席
- 44 國務院
- 44 中央軍事委員會
- 44 地方の各クラス人民代表大会と地方の各クラス人民政府
- 44 人民法院
- 46 人民檢察院

目次

3

47 政党と社会团体

- 48 中国共産党
- 49 民主諸党派
- 50 社会团体

51 中国と世界

- 52 外交政策
- 53 外国と外交関係を樹立する原則
- 54 外交機構と団体
- 55 周辺諸国との関係
- 56 世界の大国との関係
- 58 発展途上国との関係
- 59 中国——WTO
- 59 中国——APEC
- 60 中国——上海協力組織
- 60 中国——国連

61 経済の発展

- 62 経済体制
- 64 三つの段階に分けて進められる戦略
- 65 第10次5カ年計画





67 農業

- 68 農業の発展
- 69 郷鎮企業
- 69 科学技術の農業に対する貢献

71 工業

- 72 工業の発展
- 73 国有企業の改革
- 74 電力工業と石炭工業
- 75 機械工業と自動車工業
- 76 石油化学工業

77 交通運輸と観光業

- 78 自動車道路
- 78 港
- 79 鉄道
- 79 民間航空
- 80 観光業

83 航空宇宙とハイテク産業

- 84 航空宇宙事業
- 86 情報産業
- 88 ハイテク産業

目次

5



89 金融と保険

- 90 金融システム
- 90 人民元と外国為替管理
- 91 金融業の対外開放
- 91 株式市場
- 92 保険業

93 対外開放

- 94 対外開放の枠組み
- 95 西部開発
- 96 外資利用
- 97 対外貿易
- 98 関税引下げ

99 人びとの生活

- 100 住民の所得
- 100 住民の消費
- 102 医療・保健
- 103 社会保障

105 環境保全

- 106 環境保全のための措置
- 106 汚染対策
- 108 人工造林
- 108 自然保護区





- 109 生物多様化
- 110 湿地保護
- 111 砂漠化への警鐘
- 111 海洋環境の保護
- 111 環境保全産業
- 112 国際協力と契約履行

113 教育事業

- 114 教育事業の発展
- 115 グローバル化のチャレンジに直面
- 116 基礎教育
- 117 大学教育
- 120 民営教育
- 120 ネットワーク教育
- 121 留学生
- 122 特殊教育と職業教育

123 科学・技術

- 124 科学・技術の発展
- 125 科学・技術システム
- 127 科学・技術の成果
- 128 2001年の九大科学技術の進展ぶり
- 130 国の計画
- 132 国際協力
- 132 社会科学

目次

7



133 文化事業

- 134 マスメディア
- 135 出版事業
- 137 図書館
- 138 博物館
- 138 文化財の保護
- 140 伝統文化

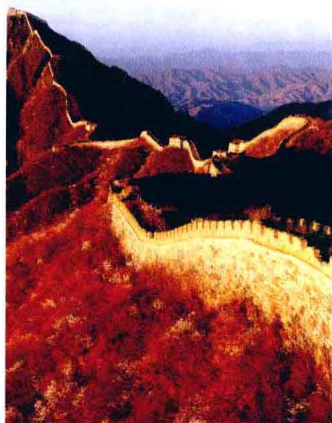
147 スポーツ

- 148 大衆スポーツ
- 149 全人民健康計画
- 150 競技スポーツ
- 151 五輪招致に成功
- 152 ユニバーシアード
- 153 2002年ワールドカップ本大会の出場権を手にした中国サッカーチームがアジアに挑んだ

154 付録

- 154 一、中国の世界文化および自然遺産のリスト
- 155 二、中国の歴史文化都市
- 156 三、中国の旅行社とホテル





歷史的概況

大昔と奴隷制社会（170万年前～紀元前476年）

中国は世界で最も早く文明の発達が見られた国の一つで、約4000年の文字によって考証できる歴史をもっている。

雲南省の元謀で発見された類人猿化石によって明らかにされているように、およそ170万年前の「元謀人」は、既に知られているものとしては中国国内における最も古い時期の人類である。およそ60万年前に、北京の周口店一帯で暮らしていた「北京人（シナントロプス・ペキネンシス）」は、直立して歩行することができ、簡単な道具の製造、使用ができ、そして火を使うことなどを知っていた。およそ1万年前の新石器時代の遺跡が全国各地に散在している。およそ6000～7000年前に、浙江省余姚の河姆渡および西安の半坡遺跡で、人工で栽培したモミとアワの粒と農具が見つかっている。

中国史上最も古い王朝——夏は紀元前2070年から始まり、夏王朝の最も発達した地域は、今の河南省西部と山西省南部一帯で、その勢力と影響力は黄河南北の地域にまで達し、そして奴隷制社会に入ることになった。夏に続いて興った商、西周では奴隷制度が一層の発展をとげた。その後、王室の勢力が衰退し、諸侯が覇権を争う春秋戦国時代に入り、この時期は奴隷制社会から封建社会への移行期と考えられる。

5000年前に、人びとは青銅製錬の技術を身につけ、3000年前の商朝の頃から鉄器を使い始め、製陶の面では、白陶と彩陶の生産ができ、絹織物の生産技術もかなり発達し、世界で



新石器時代・馬家窯文化の彩陶



戦国時代の司南



戦国時代の編鐘

最も早いものと言われるジャカード綾織技術が現れている。春秋時代には、製鋼技術も現れている。春秋戦国時代は思想、学術の面でも空前に活発化し、後世に深遠な影響を及ぼすことになった著名な哲学者——老子、孔子、孟子および兵略家——孫武が現われた。

秦の始皇帝（紀元前259～前210年）およびその帝国

紀元前221年、秦の始皇帝嬴政は250年余り続いた諸侯が争う局面に終止符を打ち、中国史上最初の統一的中央集権の多民族封建国家——秦を打ち立てた。秦の始皇帝は文字、度量衡、貨幣を統一し、郡県制度をつくり上げた。そうした封建的国家の骨組みはその後2000年にわたってずっと踏襲されてきた。そして10数年の間に30万余りの人を繰り出して中国の北部で延々と約5000キロも続く万里の長城を築造し、そしてまた生前に大規模な御陵の建設を始めた。1974年に発見された秦の始皇帝陵を守る秦の始皇帝兵馬俑は世界じゅうを驚かせ、8000体の本当の人間みtainな陶俑、陶馬と兵車は迫真感があり、「世界の第8の奇跡」といわれている。

漢の時代（紀元前206～紀元220年）と「シルクロード」

紀元前206年、劉邦が強大な漢王朝を打ち立てた。漢代には、農業、手工業、商業などが大きな発展をとげ、人口は約5000万に達した。漢の武帝劉徹が在位した時期（紀元前140年～前87年）は漢王朝の最も強大で盛んな時期であって、その中央政権の実質的支配地域を中国中央部から西域（今の新疆と中央アジア一帯）にまで広げた。そして張騫を使節として2度も西域に赴かせ、長安（現在の陝西省西安）から新疆、中央アジアを経由し、地中海東岸に到達する「シルクロード」といわれるルートを切り開き、中国の美しい絹織物を続々と西域に運んで行った。東西両側の密接な交流に従って、仏教も紀元1世紀に中国に入って来る。紀元105年、官吏の蔡倫は民間の製紙の経

秦の始皇帝陵の兵馬俑



験を総括して、製紙術を発明し、人類の書式を根本的に変えることになった。

唐代の栄えた時期 (618～907年)

漢の後、三国、両晋、南北朝、隋などの時代を経て、李淵が紀元618年に唐朝をうち立てた。李淵の息子の唐の太宗皇帝李世民 (626～649年) は一連の見識のある政策を実行し、中国の封建時代の繁栄、隆盛のピークをもたらした。発達した農業、手工業と商業の外に、紡織業、捺染、陶磁器、製錬、造船などの技術にも大きな発展が見られた。全国の水上市および陸上の交通も発達し、7世紀60年代、中国の勢力はタリム盆地、ジュンガル盆地、イリ川流域でがっちり根を下ろしたばかりでなく、中央アジアの多くの都市までに勢力が伸び、日本、朝鮮、インド、ペルシア、アラビアなどの多くの国と幅広い経済的、文化的交流が行われた。

宋、元、明、清 (960～1911年)

唐が亡びた後、五代十国の戦乱の頻繁な時期を経て、紀元960年、後周の大將の趙匡胤が宋朝 (960—1279年) をうち立てた。宋朝には相前後して北宋、南宋があり、南宋の時に朝廷を南に移し、先進的な経済、文化を南方に広め、南方の経済に対して大きな促進的役割を果たした。宋の時代には天文、科学技術と印刷術はいずれも世界の前列にランクされ、例えば畢昇が活版印刷術を発明したことは人類の印刷史の革命的な出来事であった。

ジンギスカンの孫のフビライは1271年に中国中央部に入り、元朝 (1271—1368年) を打ち立て、大都 (現在の北京) に都を置いた。フビライは数百年も続いた多くの王朝が並びつた局面に終止符を打ち、新疆、チベットと雲南地区を含めた全国の統一を実現した。製紙法、印刷術、羅針盤、火薬は中国古代の科学技術の「四大発明」とされ、宋、元代になってさらに発展を遂げ、相前後して世界各地に伝わり、世界の文明に多大な貢献をした。

1368年、明の太祖皇帝の朱元璋が南京に明王朝 (1368—1644年) をうち立てた。その息子の朱棣 (1360～1424年) が帝位については、北京で大がかりな城、宮殿の築造をおこない、1421年に正式に北京に遷都した。1405年から1433年にかけて、朱棣は宦官の鄭和に巨大な船団を率いさせて7回も大規模な遠洋航海をおこなわせ、東南アジア諸国、インド洋、ペルシャ湾、モルジブ群島を経由し、最も遠いところとしてはアフリカ東海岸のソマリアとケニアに到達し、これはコロンブス以前の規模が最も大きく距離が最もながい海上探検と



明代の万暦年間の
蓋付き梅花瓶

中国歴史年代略表

王朝	紀元	
夏	BC 2070 年—BC 1600 年	
商	BC 1600 年—BC 1046 年	
西周	BC 1046 年—BC 771 年	
東周	春秋	BC 770 年～ BC 476 年
	戦国	BC 475 年～ BC 221 年
秦	BC 221 年～ BC 207 年	
前漢	BC 206 年～ 公元 24 年	
東漢	25 年～ 220 年	
三国	(魏、蜀、呉) 220 年～ 265 年	
西晋	265 年～ 316 年	
東晋	317 年～ 420 年	
南北朝	420 年～ 589 年	
隋	581 年～ 618 年	
唐	618 年～ 907 年	
五代	907 年～ 960 年	
北宋	960 年～ 1127 年	
南宋	1127 年～ 1279 年	
元	1271 年～ 1368 年	
明	1368 年～ 1644 年	
清	1644 年～ 1911 年	

見なされている。

中国東北部の満州族の首領ヌルハチは1644年に清（1644—1911年）をうち立てた。清代の最も著名な皇帝は康熙（1661—1722年）



宋代・鈞窯の戟尊



1949年10月1日、北京の天安門広場で開国の大祝典が行われ、毛沢東主席が中華人民共和国の成立を宣言した

であり、彼は台湾を統一し、帝政ロシアの侵入を防ぎ止めた。またチベットに対する管轄を強化し、中央政府が最終的にチベットの地方指導者を決める一連の規則制度を制定した。その統治の下で、中国の領土の面積は1100万平方キロを上回るようになった。

近代（1840～1919年）

19世紀の初めになると、清王朝は急速に衰えた。イギリスはこの時期に中国に大量のアヘンを輸出し、清王朝はアヘンの取り締まりに努めた。イギリスはアヘン貿易保護のため、1840年に中国に対し侵略戦争をしかけ、最後に清王朝はイギリス政府との間で国の主権を売り渡す屈辱的な『南京条約』を締結した。アヘン戦争以後、イギリス、アメリカ、フランス、ロシア、日本などの国は絶えず清王朝に迫って、さまざまな不平等条約を締結させようとした。その時から、中国は次第に半植民地・半封建の社会に転落していったのである。

1911年、孫文の指導する辛亥革命が、清王朝の200年余りの統治をくつがえし、同時に2000年以上続いた封建君主制に終止符を打ち、中華民国を打ち立てた。このことは中国近代史上における最も偉大な意義のある出来事である。

新民主主義革命 (1919～1949年)

1919年に起こった「五・四」運動は中国現代史上の多くの重要な出来事の思想的根源だと見られている。その直接の原因は第1次世界大戦後中国に押し付けられた不平等条約によるものである。強烈な愛国主義によって、これは学生が起こしひいては全国の各階層に燃え広がる抗議運動となった。これは同時にいろいろな新しい思潮の中国への伝播を誘発し、その中で最も人目を引いたのはマルクス・レーニン主義の中国への伝播である。1921年、毛沢東ら12人が各地の共産主義グループを代表し、上海で第1回全国代表大会を開き、中国共産党はこうして誕生した。

中国共産党は中国人民を指導し、新民主主義革命を行った過程で、北伐戦争 (1924～1927年)、土地革命戦争 (1927～1937年)、抗日戦争 (1937～1945年)、全国解放戦争 (1945～1949年) の四つの歴史的階段を経てきた。抗日戦争期に、中国共産党と国民党は共同で侵略者に抵抗し、抗日戦争の勝利を勝ち取った。しかし1945年に、国民党は内戦を引き起こし、中国共産党は3年間の解放戦争を経て、ついに1949年に国民党政府を覆した。

中華人民共和国 (1949年以後)

1949年10月1日、北京の30万の人々が天安門広場に集まって建国の祝典を催し、中央人民政府主席の毛沢東は、中華人民共和国が正式に成立したことを厳かに宣言した。

建国初期、中国政府は農業人口の90%以上を占める地域で土地改革を成功裏に遂行し、3億もの農民に4700万ヘクタールの土地を分け与えた。1953年から1957年にかけて実施された第1次5ヵ年計画は驚異的な成果をおさめ、国民所得は年間平均8.9%以上増え、国の工業化に必要な、そして解放以前にはなかった多くの基礎工業をつくり上げた。その中には、航空機および自動車製造業、大型・精密機械製造業、発電設備製造業、冶金・鉱山設備製造業、高級合金鋼製造業と非鉄金属精練業などが含まれている。

1957年から1966年までの十年間は、中国が大規模な社会主義建設事業をくりひろげた時期である。1966年と1956年とを比べてみる



1985年6月、中央軍事委員会拡大会議であいさつする鄧小平氏